

非稼働病床*を有する医療機関に係る協議について

医療機関名	井上産婦人科医院		
所在地	山鹿市大橋通 5 0 3 - 1		
許可病床数	6 床	非稼働病床数	6 床
非稼働の時期	<p>平成 2 3 年頃から令和 6 年 2 月まで</p> <p>※1974 年開院以来 14 床であった病床数を、令和 2 年(2020 年)に半分以下の 6 床に削減。</p>		
非稼働の理由	<p>①人手不足 ハローワークや熊本県看護協会を通じて求人を募るも看護師の確保は難しく、看護師スタッフの人材のリクルートが難航し、夜勤、休日勤務体制を維持するためのマンパワーの不足を補いながら、外来勤務の両立を行っていくのは実際のところ大変困難な状況である。</p> <p>②医療経済の引き上げの困難性 事業の収益性が実情から見込んだ実収入と従業員の給与体系の確立が困難である。</p> <p>③症例の不在 昨今の少子化時代の風潮や中絶手術についても日帰り手術の希望が増加し、病床を使用するにあっても術後安静や疼痛時の使用も当日限りの一時的使用にすぎず、入院適応となるケースとはならなかった。</p> <p>※ベッドを使用した実績 令和 5 年度 1 件、令和 4 年度 1 件、令和 3 年度 0 件</p>		

今後の計画	<p>非稼働の理由に挙げられる3つの問題点をはじめとした解決すべき問題の対処に加えて、新たに国内でもミフェプリストン錠、ミソプロストールバツカル錠といった内服薬による人工妊娠中絶が認可となった。その臨床試験においては2剤の内服を行い、24時間の床上待機のうえで妊娠中絶が成功した被験者の割合は93.3%であり、経口内服による施術を行う場合、完了までに突然の増量した出血や緊急時の対応のほか、経口内服剤による人工中絶法の失敗のため、代替の用手的手術による中絶法に変更することにより人工妊娠中絶を完遂させるといった事態が憂慮されるほか、アレルギーなど懸念される緊急事態の管理や予見困難な不測の事態に備え入院して管理を行うのが要件となっている。</p>
-------	---

- * **非稼働病棟**：過去1年間に一度も入院患者を収容しなかった病床のみで構成される病棟
(平成30年(2018年)2月7日付け厚生労働省通知による)